

2025年度

2025年5月1日～2026年4月30日

事業報告書

鎌倉エシカルラボ



代表理事あいさつ

「フェアトレードタウン認定」というゴールから、エシカルな文化を育むスタートへ。

これまでは、フェアトレードを知っていただくため、自分ごととして捉えてもらえるよう「鎌倉焙煎珈琲 フェアトレードかまくらブレンド」の市民参加型投票や各イベントで啓発を重ね、フェアトレードタウン認定も大きな目標として歩んできました。認定という目標を達成したことは、市民、行政、企業が一体となり鎌倉に深く根付いた証だと言えます。

今年度は、「鎌倉市がフェアトレードタウンになったこと」を広く伝えていくという、重要かつ新たなフェーズに入りました。認定というお墨付きをいただいたからこそ、発信する責任も生まれ、以前にも増して影響力や注目度も高まっています。

私たちが大切にしてきたのは、「フェアトレードは特別なものではなく、日々の選択の中に存在する」という考え方です。その想いを大切に、一つひとつの活動に取り組んでまいりました。

多様なステークホルダーとの連携、そして人と人とのつながり

「鎌倉焙煎珈琲 フェアトレードかまくらブレンド」での取り組みが評価され、フェアトレード・ジャパンアワードでの受賞、多くのメディアにも取り上げられました。市民参加型の商品開発と企業との連携で、エシカル消費を全国の消費者に届けることができたという点が大きく評価されました。大船ルミネウイングでは、「コーヒーの淹れ方」という生活のシーンからフェアトレードを伝えることができました。鎌倉いち場ではエシカルアクションについての市民の投票を実施、日常の中での実践を考える場を提供。鎌倉国際交流フェスティバル、ハリス記念鎌倉幼稚園、高島屋でのポップアップでは、多くの鎌倉市民、市外の方々、海外の方々にも「知る」機会を提供でき、地域の方々とのつながりを深める大切さを改めて認識する貴重な機会となりました。新たな取り組みとしてフェアトレードコットンを使用したトートバッグを開発することにも挑戦、日常の買い物というシーンで社会課題解決を実感することができます。

また勉強会では、さまざまな活動をしているメンバーの体験や知見を共有し、お互いを高めあうことができ、メンバー同士の温かな交流を育むことができました。おてら食堂では、地域の方々との交流を深めながら、フェアトレードとは何かを伝えることができ、地域のコミュニティと連携する大切さを改めて認識しました。「御難おむすび」では、ニカラグア、ミツハシライス様、安国論寺様、鎌倉市のデザイナーと絵本作家が共創して商品開発、期間限定で販売されました。鎌倉の歴史と味を復刻し、通年販売されないのかとたくさんの声が聞かれました。

さらに、ミリオンアクションキャンペーンでは、これらの活動を通じて14,816ものアクションを積み重ねることができました。市民の積極的な参加や、フェアトレードへの関心の高まりを感じ、国際的なフェアトレードの推進にも寄与することができました。

一人ひとりの選択が少しずつ地域に広がり、やがて暮らしの風景となり、鎌倉のエシカルな文化を育んでいく、その実践が、この一年を通して少しずつ形になり始めたと感じています。

2026年度はフェアトレードを「知る」から「選ぶ」へ、さらにその先にある「自然に選ばれ続ける社会」を、地域の方々や地域企業の皆さまと共にどのように育んでいくのか。一人一人の行動変容につながる活動、それが私たちの新たな挑戦です。

1人の100歩より100人の1歩。誰1人取り残さないフェアが当たり前の鎌倉に。

私たちはこれからも「実験の場(ラボ)」として、一人ひとりのエシカルな選択が未来を、社会を変えていくことを信じ、地域の皆さまと共に歩み続けてまいります。

平野祥子

目次

1. 事業方針	3
2. 事業実施報告	3
(1) 普及啓発事業	3
・鎌人いち場での参加型企画	4
・ミリオンアクションキャンペーン	5
(2) フェアトレードタウン連携事業	6
・鎌倉市フェアトレードタウン認定記念式典	7
(3) 商品開発・事業者連携事業	8
・御難おむすびの開発	8
・フェアトレードジャパンアワード ソーシャルムーブメント部門優秀賞賞	9
・オリジナルフェアトレードコットントートバッグの開発	10
(4) 会員交流・人材育成事業	10
3. 広報活動	11
(1) 配布物制作	11
(2) ホームページ運営	11
(3) SNS発信	12
(4) プレスリリース配信	12
(5) メディア掲載	12
4. 組織運営	13
会員状況	13
会議開催	13
会則改定に向けた取組	14
5. 次年度にむけて	14

1. 事業方針

鎌倉エシカルラボは、鎌倉市のフェアトレードタウン認定と継続を目的として、2023年5月13日の世界フェアトレード・デーに設立されました。

2025年度は、鎌倉市のフェアトレードタウン認定を契機として、市民・事業者・行政との連携をさらに深めながら、フェアトレード及びエシカル消費の普及啓発に取り組みました。

「一人の100歩より、100人の一歩が世界を変える」を合言葉に、地域に根ざした活動を展開し、フェアトレードを通じた持続可能なまちづくりの推進に努めました。

2. 事業実施報告

(1) 普及啓発事業

鎌倉市におけるフェアトレードタウンの認知向上及び認定継続に向けた基盤づくりのため様々なイベントで出店や展示を行いました。本年度は市内外で9件のイベント・展示等に参加し、延べ970人以上の市民・来場者にフェアトレード及びエシカル消費の普及啓発を行いました。参加型企画や商品展示を通じて、フェアトレードタウンの認知向上に寄与しました。

活動名	イベントレベル	日時	場所	開催主体	内容	ラボ参加者数	イベント参加者数
ミリオンアクションキャンペーン	参加	2025/5/1-5/31	—	フェアトレード・ラベル・ジャパン	「商品購入」や「SNS投稿」「イベント参加」などでフェアトレードに関するアクションの実施を呼びかけるキャンペーンに参加	—	10772 Action
鎌人いち場	出展	2025/5/18	由比ガ浜海浜公園	鎌人いち場実行委員会	フェアトレードの啓発活動—参加型企画「地域にこれまで以上に浸透してほしいエシカルアクションは？」というテーマのパネルを設置し、来場者の皆様にシールを貼って投票していただく参加型の企画を実施しました。	6名	672名
鎌倉エシカルウィーク	出展	2025/7/22-7/31	大船ルミネウイング	大船ルミネウイング	フェアトレード商品の紹介展示	N/A	N/A
フェアトレードコーヒーセミナー	登壇	2025/7/26	大船ルミネウイング	大船ルミネウイング	フェアトレードかまくらブレンドの淹れ方セミナー	3名	N/A
湘南白百合学園ポーロ祭	参加	2025/9/20-21	湘南白百合学園	湘南白百合学園SDGs有志団体SEE	フェアトレードの普及啓発についてパネルと取組共有	1名	15名

オクトーバーフェスト鎌倉2025	出店	2025/10/4-5	鎌倉市役所前	鎌倉市・鎌倉商工会議所青年部	活動パネル展示・コーヒー試飲用配布・エシカルアクションの参加型企画	7名	300名
鎌倉エシカルマルシェ	パンフレット配布	2025/10/22-28	横浜高島屋	横浜高島屋	フェアトレードタウンかまぐらトリセツ配布	3名	N/A
鎌倉国際交流フェスティバル	出店	2025/11/9	高德院(大仏)	かまぐら国際交流フェスティバル実行委員会	鎌倉市内の国際交流団体(ユネスコ、アムネスティ等)が集まるイベント。ブースにてフェアトレード商品の販売と普及啓発。	6名	N/A
ソーシャルプロダクツ展	展示	2025/11/7-9	東京大丸	ソーシャルプロダクツアワード普及推進協会	2024年ソーシャルプロダクツアワードを受賞したフェアトレードかまぐらブレンドを展示	4名	N/A
小さな小さなクリスマスマーケット	出店	2025/11/30	日本基督教団鎌倉教会、ハリス記念鎌倉幼稚園	日本基督教団鎌倉教会、ハリス記念鎌倉幼稚園	クリスマス点灯式のマルシェにて、フェアトレード商品の販売と普及啓発。	6名	N/A
かまぐら市民フェスティバル	参加	2025/12/12	玉縄交流センター	かまぐらNPOセンター	活動の軌跡をパネルと合わせて展示を実施。フェアトレード、エシカル、共生の普及啓発をかねて実施	2名	100名
子育て中の方向けのフェアトレード普及セミナー	参加	2026/2/3	かまぐら地域支援センター	鎌倉市	子育て支援センターで子育て中の方向けのフェアトレードセミナーを鎌倉市共生課と共同で実施して普及啓発をおこなった	2名	20名

・鎌人いち場での参加型企画

2025年5月18日に開催された鎌人いち場では、フェアトレード認知拡大やエシカルアクションの啓発を目的に「地域にこれまで以上に浸透してほしいエシカルアクションは？」というテーマのパネルを設置し、来場者の皆様にシールを貼って投票していただく参加型の企画を実施しました。



小学生からご年配の方まで幅広い年齢層の方々にご協力いただき、合計678票もの投票をいただきました。この投票は単なる意見集約にとどまらず、フェアトレードミリオアクションキャンペーンの一環で行われたため、1票につき1円が途上国の生産者への寄付となる仕組みになっています。投票は複数回答可能で、「残さず食べる」「直して使う」などを含む14項目から選択していただく形式で実施しました。結果として最も多く支持されたのは、日常生活の中で身近に実践できるエシカルアクション（残さず食べる、マイバッグやマイボトルを利用するなど）でした。一方、比較的投票が少なかったのは、時間やコストがかかるエシカルアクション（フェアトレードの食品を選ぶ、オーガニック野菜を食べる、伝統工芸品を購入するなど）でした。この結果は、持続可能な社会づくりに向けた取り組みを広げていく上で、まずは身近で取り組みやすい行動から始めることの重要性を示唆しています。

エシカルアクション投票結果

項目	合計	投票1	投票2	選択率
残さず食べる	83	40	43	66.94%
マイバッグ、マイボトルの利用	77	41	36	62.10%
最後まで使い切る	60	31	29	48.39%
徒歩や自転車で移動	58	33	25	46.77%
ピーチクリーンをする	56	31	25	45.16%
地元の食材を買う	52	26	26	41.94%
地元のお店で買う	49	32	17	39.52%
直して使う	45	21	24	36.29%
着回しの工夫	43	18	25	34.68%
フェアトレードの食品を選ぶ	42	20	22	33.87%
オーガニック野菜を食べる	39	22	17	31.45%
伝統工芸品の購入	36	23	13	29.03%
エシカルについてみんなと話す	30	16	14	24.19%
特になし	2	1	1	1.61%
合計	672	355	317	

・ミリオンアクションキャンペーン

鎌倉エシカルラボは、認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパンが主催する「フェアトレードミリオンアクションキャンペーン2025」に参画しました。

このキャンペーンは、毎年5月の「フェアトレード月間」に実施される、持続可能性とフェアトレードに関する国内最大規模の啓発活動です。全国の企業・団体・行政機関・飲食店・学校などと連携し、さまざまな「フェアトレード・アクション」の実施を呼びかけます。

キャンペーン期間中(2025年5月1日～31日)、商品購入やSNS投稿、イベント参加などのアクションが1件＝1円として換算され、途上国への支援に活用されます。

2024年も当キャンペーンに参画し、鎌倉エシカルラボは、1631アクションを獲得しました。2025年は、昨年を大きく上回り14,816アクションを獲得することができ、キャンペーンに貢献しました。

鎌倉エシカルラボのアクション内訳

アクション名	内容	日付	アクション数
おてら食堂	フェアトレード産品採用	5月4日	62
鎌倉市のフェアトレードタウン認定式典	フェアトレード産品採用	5月6日	89
鎌人いち場	イベント参加 アンケート数	5月18日	678
御難おむすび	販売数(上期)	5/1～21	10362
御難おむすび	販売数(下期)	5/22～31	3057
キャンペーン関連サイト	鎌倉エシカルラボウェブサイト「活動レポート」	5/1～31	565
鎌倉朝日新聞掲載	5月1日号 2025年 第554号	5月1日	1
	Web版	5月1日	1
Yahooニュースエキスパート	https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/d86efd8da638cc098885705b9ce23ae26bab197f	5月28日	1
		合計	14816

(2) フェアトレードタウン連携事業

活動名	イベントレベル	日時	場所	開催主体	内容	ラボ参加者数	
鎌倉市フェアトレードタウン認定記念式典	主催	2025/5/6	鎌倉市議会議場		2025年3月にフェアトレードタウンとして認定され、記念式典を開催しました。		90名

【フェアトレードとSDGsの未来】第2回フェアトレードリユニオン「出会う、対話する、発見する」	参加	2025/5/24	ICU	フェアトレードむさしの	フェアトレードむさしの×ICU SDGs推進室のイベントに参加をいたしました。エシカルラボの活動、かまくらブレンドの取組、ICU学生さん達とパネルディスカッションの実施	2名	100名
フェアトレード全国フォーラム2025	展示・登壇	2025/9/13	ささしまライブ	フェアトレードタウンなごや	鎌倉の活動展示とコーヒーの展示活動紹介	2名	
おおぶフェアトレードタウン認定記念式典・マルシェ	出席・出展	2026/3/28	大府市	大府市	フェアトレードタウン認定記念式典の出席とマルシェで鎌倉のフェアトレードアイテムの紹介	3名	

・鎌倉市フェアトレードタウン認定記念式典



2025年5月6日、鎌倉市役所本庁舎市議会議場において、鎌倉市フェアトレードタウン認定式を開催しました。当日は、多くの関係者および市民の皆様にご参加いただき、認定を祝うとともに、フェアトレードのさらなる普及・推進に向けた機運を高める機会となりました。

式典では、鎌倉エシカルラボ共同代表の末吉里花氏による開会挨拶の後、鎌倉市長 松尾崇氏、鎌倉市議会議長 池田実氏より挨拶が行われました。続いて、一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム代表理事 内山大志氏より祝辞が述べられ、鎌倉市のこれまでの取組が評価されるとともに、認定証が松尾市長、池田市議会議長、鎌倉エシカルラボ共同代表へ授与されました。

また、浅尾慶一郎環境大臣およびニカラグア共和国のサンディ・アナベル・ダビラ・サンドバル駐日大使から祝賀メッセージが寄せられ、フェアトレードの推進や国際交流への期待が示されました。

式典には、フェアトレードタウン認定に携わった鎌倉市議会議員をはじめ、全国のフェアトレードタウン関係者、フェアトレード商品の普及に取り組む事業者など、多くの関係者にご臨席いただきました。

最後に、鎌倉エシカルラボ共同代表の平野祥子氏が、本認定を新たな出発点として、フェアトレードおよびエシカル消費のさらなる普及に取り組んでいく決意を表明し、式典を締めくくりました。

本認定は、鎌倉市における市民・事業者・行政の連携によるフェアトレード推進の成果であり、今後も持続可能な地域社会の実現に向けて、普及啓発活動を継続していく契機となりました。

(3) 商品開発・事業者連携事業

・御難おむすびの開発



御難おむすびは「鎌倉焙煎珈琲～フェアトレードかまくらブレンド」に次ぐ産業・地域振興連携プロジェクトの第二弾として、ミツハシライスおよび日蓮宗妙法華経山 安国論寺と協業し、地域に伝わる食文化を現代に蘇らせる目的で開発された商品です。具材の中の白ごまは、フェアトレード認証を受けたニカラグア産の白ごまを採用しました。2025年5月の1ヶ月限定で関東を中心としたスーパーマーケットやドラッグストアなどで販売され13,419個を売り上げました。

販売開始前の2025年4月15日、白ゴマの産地であるニカラグア共和国の駐日大使館を訪問し、サンディ・アナベル・ダビラ・サンドバル駐日大使と会談しました。

会談では、プロジェクト発起人である安国論寺住職・平井智親上人がプロジェクトの概要と現状について説明を行い、大使からはプロジェクトの意義や今後の展開について多くの質問が寄せられるなど、高い関心が示されました。続いて、日本の食文化に触れていただく機会として「御難おむすび」を試食いただき、和やかな雰囲気の中で意見交換を行いました。

大使からは、気候変動による白ゴマの生産量の減少や世界情勢の変化など、ニカラグアが直面する厳しい現状について説明がありました。そのうえで、本プロジェクトが鎌倉から発信される明るい話題として、ニカラグア国民に希望をもたらす取り組みであるとの評価をいただきました。

また、2025年は日本とニカラグアの外交関係樹立90周年に当たることから、本プロジェクトの推進が両国の友好関係を深める意義ある取り組みであるとの言葉をいただくとともに、ニカラグア国民を代表して鎌倉の関係者へ感謝の意が述べられました。



同様に2025年4月17日、鎌倉エシカルラボは、安国論寺住職の平井智親上人と株式会社ミツハシ米飯事業本部米飯営業部開発課の平松綾子様と共に鎌倉市役所を訪問し、鎌倉市長に対し、御難おむすびのご試食とプロジェクトの取り組みに関するご紹介をいたしました。市長は、地域に伝わる食文化の復刻というプロジェクトの意義に共感され、熱心に耳を傾けられました。ご試食された御難おむすびについても高い評価をいただき、今後の展開に期待を寄せられました。

・フェアトレードジャパンアワード ソーシャルムーブメント部門優秀賞賞

2025年11月13日、特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン(FLJ)が主催する「第2回フェアトレード・ジャパン アワード(Fairtrade Japan Award 2025)」において、「ソーシャルムーブメント部門 優秀賞」を受賞しました。本賞は、三本珈琲株式会社鎌倉総合工場、国分首都圏株式会社、および鎌倉市と連携して実施した産業・地域振興プロジェクトから誕生した「鎌倉焙煎珈琲 フェアトレードかまくらブレンド」が高く評価されたものです。

「鎌倉焙煎珈琲 フェアトレードかまくらブレンド」は、地域・市民・企業・行政が一体となり生み出した、鎌倉発のフェアトレード製品です。開発途上国の生産者から適正な価格で調達したフェアトレード認証コーヒー豆を使用し、三本珈琲株式会社 鎌倉総合工場で焙煎・パッケージングを行っています。鎌倉の歴史や文化をイメージした味わいが特徴で、2024年8月より全国の主要量販店などで販売されています。今回の受賞では、多様なステークホルダーの連携による商品開発や、市民がパッケージデザインや味の選定に参加した点が特に高く評価されました。



・オリジナルフェアトレードコットントートバッグの開発



2025年11月30日、ハリス幼稚園 クリスマス・マーケットにて、当団体の活動理念である「エシカルな選択」を体現するオリジナル・トートバッグを発売しました。

素材にフェアトレード認証を受けたコットンを使用することで、一般的なコットン栽培の現場で長年続く人権問題、健康被害と危険な労働環境、環境破壊に正面から向き合いました。

また立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活向上と経済的自立、労働環境の改善や人権保護、環境保全と持続可能性の向上等を目指しました。

(4) 会員交流・人材育成事業

鎌倉エシカルラボの会員同士の交流と自分で発信する力を身につける、知識を蓄えるための勉強会を開催しました。

活動名	日時	場所	内容	ラボ参加者数
エシカルラボ定期勉強会 第5回フォルケってどんなところ？	2026/3/29	えしかる屋	メンバー向け勉強会第5回として、エデュケーション会員の美咲さんにデンマーク留学のお話をお聞きました。	10名

3. 広報活動

今年度は、特に鎌倉市がフェアトレードタウンになったことの周知やフェアトレードの認知拡大に取り組んでまいりました。

(1) 配布物制作



2025年9月、フェアトレードタウンの理念や取組を広く周知することを目的として、リーフレット「フェアトレードタウンかまぐらトリセツ」を制作しました。本リーフレットでは、フェアトレードタウンの概要や、フェアトレード商品を選択する意義について、わかりやすく紹介しています。

制作したリーフレットは、今後、鎌倉市内の店舗や各種イベント等で配布し、フェアトレードの普及啓発に活用していく予定です。

(2) ホームページ運営

1年間の運用で、日本を中心に世界各国から計594人のアクティブユーザーを獲得しました。平均エンゲージメント時間は4分15秒（国内は4分27秒）、エンゲージメント率は64.82%と極めて高く、訪問者が深く共感していることが伺えます。また、動画再生など、サイト内で能動的なアクションを示す総イベント数が12,740回に達した点であり、認知向上に留まらない質の高いサイト運用が実現できています。

活動内容: 団体の「顔」として、公式ホームページの運用を継続しました。

実績・成果: イベントの告知、活動レポート、および団体概要の最新化を行い、鎌倉エシカルラボの活動をいつでも分かりやすく確認できる基盤を整えました。

(3) SNS発信

より身近なファンや地域の方々と繋がるため、Instagramを中心とした発信に注力しました。今年度は合計26のポストを投稿しました。活動の様子をビジュアルで分かりやすく伝えました。

フォロワー数 2026年7月4日現在：442

(4) プレスリリース配信

社会的信用を高め、より広い認知を獲得するため、主要なイベントや新プロジェクトのタイミングでプレスリリースを配信しました。メディア関係者へ直接アプローチすることで、単なるSNS発信に留まらない、公的な情報発信のルートを開拓しました。

プレスリリース配信数：2件

(5) メディア掲載

プレスリリースや日頃の活動がきっかけとなり、メディアからの取材への対応を行いました。日本経済新聞、流通ニュース / 食料新聞、タウンニュース（鎌倉版）、オルタナ (Alterna)、鎌倉朝日新聞等に掲載され、単独ではリーチできなかった層へ、鎌倉エシカルラボの活動や理念を広く届けることができました。



鎌倉朝日 2025年5月1日掲載



鎌倉朝日 2025年6月1日掲載

4. 組織運営

会員状況

前年度

区分	人数・団体数
個人会員	26名
法人会員	6団体
エデュケーション会員	4名

本年度

区分	人数・団体数
正会員	31名(うちエデュケーション会員6名)
法人会員	4団体
賛助会員	3名

※エデュケーション会員: 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第1条で規定する学校に在籍する会員。会費は免除される。

会議開催

- 定時総会 1回

- 臨時総会 1回
- 役員会 0回
- 運営会議 12回

会則改定に向けた取組

組織の運営体制を見直し、より多くの会員が組織運営や意思決定に参画できる体制を構築することを目的として、現行会則の改定に着手しました。

会則改定にあたっては、2024年8月にプロジェクトチームを設置し、約8か月にわたり協議・検討を重ねました。組織の将来を見据え、運営体制や役員構成、意思決定の仕組みなどについて議論を行い、現場の意見も踏まえながら改定案を取りまとめました。

改定の大きなポイントは、共同代表制の導入です。これにより、役割を分担しながら複数名で組織を運営できる体制を整えるとともに、多様な視点を取り入れた意思決定が可能となる基盤を構築しました。

改定案は、2025年4月24日に開催した臨時総会において承認され、2026年5月1日から施行することが可決されました。

5. 次年度にむけて

鎌倉エシカルラボは、フェアトレードタウン鎌倉の価値をさらに高めるとともに、鎌倉市民一人ひとりの行動変容につながる活動を推進し、市外の幅広い層にもアプローチしながら、持続可能で誰ひとり取り残さない地域社会の実現を目指してまいります。

そのため、フェアトレードタウン認定の継続に向けた活動をさらに充実させるとともに、若い世代への普及啓発を強化し、次世代の担い手づくりを進めてまいります。また、会員及びサポーターの拡大を図るとともに、安定した活動財源の確保に努め、活動基盤の強化を進めてまいります。さらに、市内事業者との連携を一層深め、地域全体でエシカルな取り組みが広がるよう活動を推進してまいります。